

吹田市商工業振興対策協議会 議事録

- 1 開催日 令和2年9月1日(火)
- 2 開催場所 吹田市役所 高層棟4階 特別会議室
- 3 開催時間 午前10時から正午まで
- 4 出席委員 佐竹会長(リモート出席)、刃物副会長、石川委員、岸原委員、紙谷委員、山口委員、西田委員、浦部委員、村口委員、福家委員、奥田委員、平岡委員、松尾委員
- 5 欠席委員 なし
- 6 出席職員 井田部長、中川次長、梅森室長、新栞参事、淵上参事、萩原主幹、樋口主幹、山中主任、渡辺係員、西村係員、奥山係員
- 7 公開・非公開の別 公開
- 8 傍聴者 1名
- 9 配付資料(事前送付)
 - (1) 次第
 - (2) 資料集
 - 資料番号1 吹田市商工業振興対策協議会委員一覧
 - 資料番号2 令和2年度(2020年度)都市魅力部地域経済振興室の組織体制
 - 資料番号3 平成29年度(2017年度)～令和元年度(2019年度)
吹田市商工関係事業別予算・決算額の対比及び令和2年度
(2020年度)吹田市商工関係事業別予算
 - 資料番号4-1 吹田市商工振興ビジョン2025について
 - 資料番号4-2 吹田市商工振興ビジョン2025の推進について
 - 資料番号5 吹田市商工振興ビジョン2025これまでの取組経過
 - 資料番号6 吹田市商工振興ビジョン2025検証シート
 - 資料番号7 ふるさと寄附金事業について
 - 資料番号8 新型コロナウイルス感染症緊急対策 事業者支援施策実施状況
- 報告資料1 国の統計調査結果に基づく本市の産業の現状について
- 参考資料1 吹田市産業振興条例

10 会議内容（発言要旨）

<案件（1）平成 29 年度（2017 年度）～令和元年度（2019 年度）吹田市商工関係事業別予算・決算額の対比及び令和 2 年度（2020 年度）吹田市商工関係事業別予算について>
事務局から内容説明の後、次の意見、質疑があった。

（委員） 信用保証料補給金等を含む中小企業資金融資の予算が昨年度より減少しているのは何故か。

（事務局） まず、融資専任相談員が非常勤職員から会計年度任用職員に移行となったことで予算額が大きく減少した。また、信用保証料補給金、利子補給金、開業支援利子補給金は昨年度の活用実績に基づいて増減するため、その影響で減少している。

<案件（5）ふるさと寄附金事業について>
事務局から資料説明の後、次の意見、質疑があった。

（委員） 現時点での寄附額はどのくらいか。

（事務局） 8 月 7 日に受付を開始してから、毎日 10 万円前後の寄附を頂戴している。予算額として、歳入は 1 億 8 千万円を見込んでおり、ふるさと納税の制度利用者は 11 月や 12 月が多いと聞いているため、今後さらに寄附申込みが増えると思われる。

<案件（6）新型コロナウイルス感染症緊急対策 事業者支援施策の実施について>
事務局側から資料説明の後、次の意見、質疑があった。

（委員） 小規模事業者応援金は令和 2 年 4 月の売上が前年同月比で 50%以上減少している事業者が対象となるが、比較対象期間や減少率の要件を緩和することはできないのか。また、対象業種はどのようなものがあるのか。募集期間は 7 月 31 日までとあるが、8 月以降は受付しないのか。

（会長） この件については現在進行形で、どこまで被害が広がるのかも不明であり、今後内閣が変わることで国の施策や大阪府の施策も変更する可能性があるため、現時点での回答は難しいかもしれないが、可能な範囲で回答してほしい。

（事務局） 小規模事業者応援金は、大阪府と共同で実施した休業要請支援金の対象外となった事業者のうち、感染拡大防止の取組が必要と思われる特定の業種について支援を行う目的で制度を構築した。そうしたことから、対象期間や減少率も休業要請支援金との兼ね合いで決定した。対象業種は、小売業のほか学習塾や美容室等の広く一般の方と接する機会の多い業種として

いる。募集期限も新型コロナウイルス感染症の影響で大きく売上の減少した事業者に対して早急に支援を行うために7月31日までとした。

(委員) 今後の見通しは。

(事務局) 現在は商品券事業の準備を始めているところである。

<報告(1) 国の統計調査結果に基づく本市の産業の現状について>

事務局から資料説明の後、次の意見、質疑があった。

(委員) 吹田市は卸売業・小売業の割合が最も大きいためその注目度が高いが、医療・福祉業や教育・学習支援業の割合も大きい。さらに従業者の収入という面では他の業種が卸売業・小売業を上回っている調査結果もあると聞いている。そのような観点からも施策を検討すべきではないか。

(事務局) 幅広い業種に対応できるように今後も支援策を検討していきたい。

<案件(2) 吹田市商工振興ビジョン2025の推進について、案件(3) 吹田市商工振興ビジョン2025これまでの取組経過について、案件(4) 吹田市商工振興ビジョン2025検証シートの期末報告について>

事務局から資料説明の後、次の意見等があった。

(委員) 展示会等出展事業補助金は申請者が多いため充実すべき。中小企業ホームページ作成事業補助金はリニューアルも補助対象にするようにしてはどうか。中小企業資金融資事業も更に充実すべき。夏休み子ども体験学習講座も応募数121名にもかかわらず参加可能人数が24名と少数のため拡大をすべきである。また、小規模事業者への支援が弱いと思われるので、支援施策の充実をしてほしい。

(委員) 本協議会に参加してから知った施策も多いので、より幅広い事業者がこの情報を知ってほしい。中小企業家同友会でもこの情報を伝えていきたいと思う。

(委員) 商店街の組合数は若干増加傾向にあり、新規創業の数値を見ると吹田市は発展しているのだと思う。商店街としては、工場の跡地等、商業地域でないところに大型店舗が設置されているので、市全体の人の流れやお金の流れを考えながら施策を続けてもらいたいと思う。

(委員) 施策を利用したことによって、企業の売上等にどのように影響があったのかという点も知りたい。

(委員) アクションプランを進めていくことは重要だが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大に

よって状況が変化しているため、それを踏まえた上で、本当の意味で商工業の活性化に繋がるように事業を進められるとよいと思う。

(委員) 吹田市は学校の教育レベルも高く、通勤族の方も多いため、子供達にも学ぶ機会を多く与えてほしいという点からも、夏休み子ども体験学習講座の対象人数の拡大をしてほしい。

(委員) これほど多くの施策があることや、ビジョンについて今回初めて知ったので、商店街を始め市民に対して積極的に情報発信をしてほしい。補助金を組み合わせて活用できるものがあれば、その点についても市から案内してもらえたら分かりやすいと思う。

(委員) コロナ禍で商工会議所に対する相談も非常に多いが、不思議なのは現在のような状況の中でも一定の創業の相談があることである。ビジョンの見直しの際は、創業者をどのような位置付けにしていくべきなのか改めて検討する必要があると感じた。

(委員) アクションプランの基本方針Ⅱ 施策Ⅱ「地域経済の循環及び活性化に資する企業誘致の推進」に関して、吹田市の大学の多さや医療クラスターが形成されているという強みは生かしていくべき。全ての大学を集めてビジネスプランの発表会を実施すれば学生の創業意欲が上がるのではないかと。また、建設業の関係から言えば、基本方針Ⅲ 施策Ⅲ「中小企業者の経営の安定、販路開拓及び人材育成に関する支援」で、今後実施を検討すべき新たな取組として、市内官公需における中小企業者の受注機会の増大に向けた取組を挙げているが、現状、吹田市はインフラ整備が終わり、維持管理の時代になっている。国交省が進めている包括民間委託という取組があるが、市内中小企業にとっては、これが受注機会の拡大に繋がるのか、大手企業の下請けになるのかという見極めが必要だと思っている。

(委員) ものづくりというところでは、今は工場を新たに作ることで用途地域の関係で難しい。そうすると現在工場があるところでやっていくことになるが、騒音等が問題になる。企業定着型環境配慮事業補助金については、自社も工事を行ったばかりのため興味を持った。このような施策を大々的に情報発信をしてもらえると助かる。

(委員) 創業塾、女性創業塾に携わっているが、今年は例年よりも受講生の集まりが早く、人数も多かった。今週の土曜日からは始まる創業塾には 27 名参加する。参加者がどの程度、吹田市に定着してビジネス展開できるのかはまだ分からないが、創業の状況としては盛り上がっている。また、展示会等出展事業補助金については、実際の展示会が中止、又は延期となり、オンライン商談会・展示会に切り替わっているところも多いので、補助金の交付対象を状況に応じて柔軟な内容にするとよいのでは。

(会長) このようなご時世だから逆に創業希望者が多いのではないかと。職を失っている方も多

(委員) 新型コロナウイルス感染症の影響もあるので、今後は廃業率を食い止めるような形で施策を活用できたらよい。今後ビジョンを作成する際は他市町村の良い部分と比較してはどうか。

<その他について>

事務局側から次回開催予定日は11月4日(水)となる旨の連絡があった。